

(参考資料—2) 被ばくによるがん死亡リスク 「NHK報道とICRP勧告の比較」

[NHKの説明]

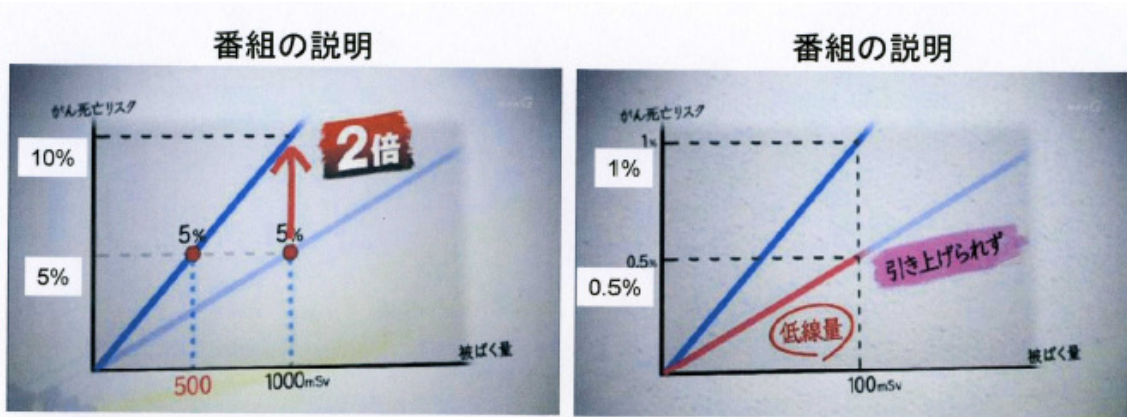


図1 原爆で被ばくした場合

図2 ゆっくり被ばくする場合

1. 原爆で被ばくした場合 (高線量被ばく)
  - (1) 1990年以前では、がん死亡リスクは1000mSvで5%
  - (2) 1990年の見直しで、がん死亡リスクは1000mSvで10%
2. ゆっくり被ばくする場合 (低線量被ばく)
  - (1) 1990年以前では、がん死亡リスクは100mSvで0.5%
  - (2) 1990年以後でも同じく100mSvで0.5%

[ICRPの勧告] 下部: ICRP 1977(Pub 26) 上部: ICRP 1990(Pub 60)

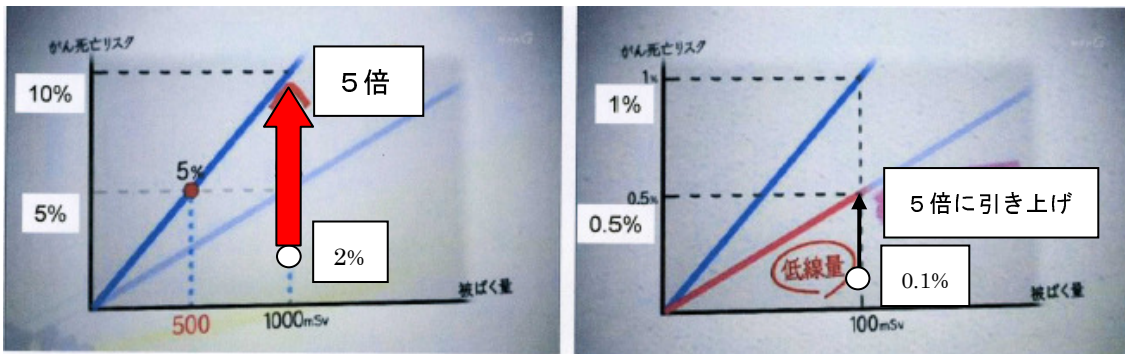


図3 原爆でひばくした場合

図4 ゆっくり被ばくする場合

1. 原爆で被ばくした場合 (高線量被ばく)
  - (1) 1990年以前では、がん死亡リスクは1000mSvで2%
  - (2) 1990年の見直しで、がん死亡リスクは1000mSvで10%
2. ゆっくり被ばくする場合 (低線量被ばく)
  - (1) 1990年以前では、がん死亡リスクは100mSvで0.1%
  - (2) 1990年のみなおしで、がん死亡リスクは100mSvで0.5%